

—傾斜板式消波構造物—



1. 概要

傾斜板式消波構造物 PSR (Pile Supported Reef) は、静かな海域を創出するとともに、通水性、低反射特性等、環境との調和を目指した優れた消波構造物です。PSR は静水面付近に緩い傾斜角を持った平板を鋼管杭またはジャケット構造に固定し、入射してきた波を傾斜板上で反射、砕波させることにより、効果的に消波を行います。防波堤、離岸堤、波除堤あるいは護岸前面の消波工への適用が可能です。

2. 特徴

- 消波性能：防波堤、離岸堤などに求められる基本的機能に加えて反射波が小さい特長を有し、小型船舶などへの影響を最小限におさえます。
- 適用性：比較的大きな水深、軟弱地盤などにおける適用性に優れ、従来工法に比べて経済性を発揮します。
- 透過性：傾斜板による遮閉面積が小さく、下部が透過

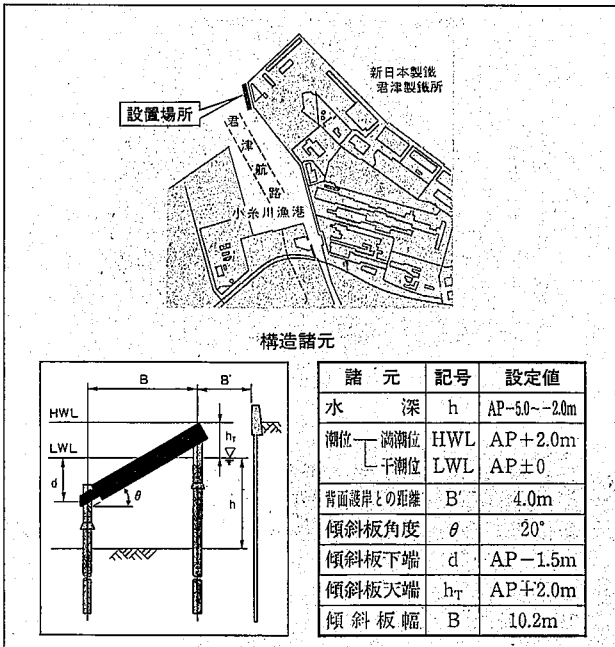
性の構造のため海水の交換性に優れ、港内の環境保全が図れます。

- 工期の短縮：プレファブ化を図り、海上での作業を最小限としているため、工期を短縮できます。

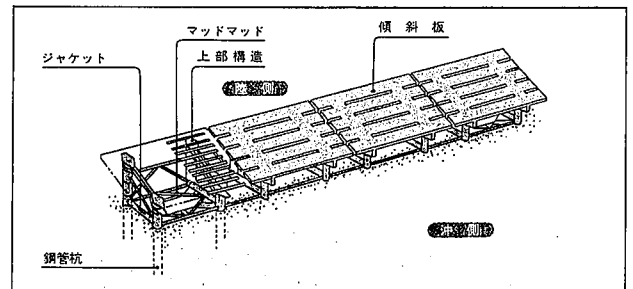
3. 適用事例

1990年12月、千葉県君津市にある小糸川漁港の航路への反射波低減対策を目的に、隣接する当社君津製鐵所西護岸に PSR が初めて建設されました。君津航路は君津製鐵所西護岸前面と対岸の富津側埋立地に挟まれ、季節によっては両岸からの反射波によって波高が増大しやすく、西護岸前面は航路奥に位置する小糸川漁港の漁船の航行に支障をきたす海域となっていました。このため、新日本製鐵は千葉県と協議のうえ、消波工として PSR を西護岸の延長362m の区間に設置しました。

営業窓口
鉄構海洋事業部 海洋・鋼構造エンジニアリング部
Tel (03)3275-6272



君津製鐵所西護岸設置工事



概要図

